

## 建築仕上げ材（ボード材）加工アシスト機

## 「iBow2（アイボー2）」



## ボード加工作業の無人化(業務自動化)を実現したアシスト機械

## 開発の背景

従来ボード工事は、作業員が寸法実測・墨付け・手作業によるボード加工及び貼り付けを二人一組で行い、貼り付けるボード材の多くは現地加工が必要のため、加工作業を省人化・省力化できる技術のニーズが高まっていました。

## 技術の用途

iBow2はスマートフォン及びタブレット専用アプリから指で操作し、山積みされたボードを上から順に、直下のボードを傷付けることなく連続して切削加工することが可能です。

内装仕上工事に用いられる石膏ボードを対象としており、加工担当者1名の削減が望めます。

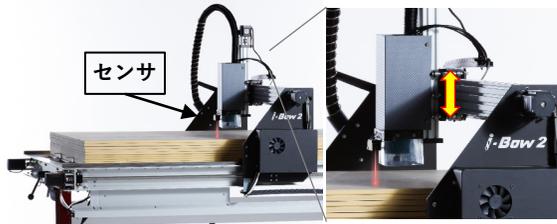


使用状況写真

## 機能

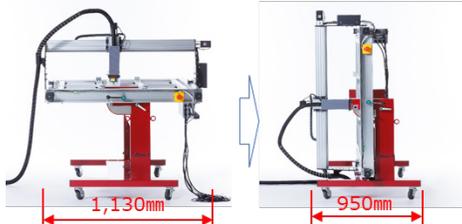
## 建築仕上げ材加工ロボット「iBow2」の主な機能

## ●ボード計測、補正する「たわみ補正システム」を開発！



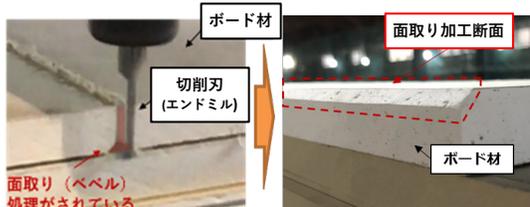
ボード材や本体フレームのたわみ量を正確に補正でき、積み重ねられたボード材の連続加工が行えます。

## ●可搬性に優れたトランスフォーム機構を開発！



本体の加工台を90°回転させる事で全幅の縮小が可能となります。

## ●切削と同時に面取りが行える切削刃を開発！



切削しながら面取り（ベベル加工）を同時に行え、加工時間短縮が図れます。

## ●専用アプリ「YUBI CAD」を開発！



図形や曲面を、直感的に指で入力可能なユーザーインターフェイス「YUBI CAD」

## 導入効果

従来工法より「iBow2」を用いた方が**作業時間が6%短縮！！**

**加工担当者の削減が可能！！**

## 今後の可能性

現地採寸の自動化技術（センシング技術）の開発を行い、得られた測定結果取得や複数端末からの操作を可能とすることにより、蓄積した図形情報をユーザ同士で共有し、現地での作業効率向上を図り、更なる省人化・省力化に寄与する製品の開発を行います。

## 技術の諸元



## ■主要諸元

本体寸法	全長2,230mm×全幅1,130mm×全高1,200mm
変形時寸法	全長2,230mm×全幅950mm×全高1,480mm
重量	120kg
連続加工可能枚数	20枚（専用カートリッジ台車では最大40枚）
使用電源	単相AC100V
公称出力	DC24V/10A以下
入力周波数	50Hz又は60Hz
操作デバイス 対応OS	Android6以降